

| | | |
|--------------------------|-------|--|
| がん専門修練医 コース | 対象者 | 原則として以下のいずれかに該当する一定レベル以上の経験と実績を有する医師を対象とする <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立がん研究センターのレジデント修了者 ・ 関連するサブスペシャリティ領域専門医等取得済みまたは取得見込み ・ もしくは上記と同等の能力を有する医師 |
| | 研修目標 | がんに関する専門的な画像診断・IVRに特化した研修を行う |
| | 研修内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年間の研修期間。ルーチン業務としてCT読影に携わる他、希望する専門分野においてMRI、核医学、IVRの読影を行う。また、各種学会における発表や論文作成を目指した研究を平行して行う ・ 原則として他科へのローテーションは行わない |
| | 研修の特色 | 当院では臨床医との画像カンファランスが臓器別に多数行われており、画像カンファランスでの画像プレゼンテーションを積極的に行う |
| レジデント 3年コース・ 2年コース | 対象者 | 原則として以下の全ての条件を満たした医師を対象とする <ul style="list-style-type: none"> ・ 採用時に医師免許取得後3年日以降が対象で、上限はない ・ 基本領域専門医または認定医取得済みもしくは取得見込み |
| | 研修目標 | CT・MRI・核医学・IVRの基本事項に関する研修と平行して、がんに関する専門的な画像診断について研修する |
| | 研修内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年コース、2年コースともにルーチン業務としてCT読影に携わる他、2～3ヶ月単位でMRI、核医学、IVRの研修を行う。希望に応じて研修内容の変更も可能。(例：IVRに特化した研修を行いたい、等) ・ さらに3年コースでは半年を上限として内科、外科、病理科等、希望する診療科へのローテーションが可能。2年コースでは3ヶ月を上限として内科、外科、病理科等、希望する診療科へのローテーションが可能 |
| | 研修の特色 | 当院では臨床医との画像カンファランスが臓器別に多数行われており、カンファランスでの画像プレゼンテーションを放射線診断科で担当している。画像診断のみならず画像プレゼンテーションの研修も行うことが可能である |

| | | |
|----------------|------|---|
| レジデント 短期コース | 対象者 | 原則として基本領域専門医取得済みもしくは取得見込みの医師を対象とする |
| | 研修目標 | 研修期間および研修医師の希望に応じて研修プログラムを編成する |
| | 研修内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ルーチン業務としてCT読影に携わる他、ルーチン業務としてCT読影に携わる他、1～2ヶ月単位でMRI、核医学、IVRの研修を行う。希望に応じて研修内容の変更も可能。(例：IVRに特化した研修を行いたい、等) ・ 他科へのローテーションは行わない ・ 最短3か月から最長2年未満の期間在籍する ※原則として3か月単位とする |
| 専攻医 コース | 対象者 | 基本領域専門医取得のための研修を目的としたコース 以下の全ての条件を満たした医師を対象とする <ul style="list-style-type: none"> ・ 採用時に医師免許取得後3年日以降 ・ 専門医制度において東病院が連携施設として登録されている基幹施設で研修中の専攻医 |
| | 研修目標 | 研修期間および連携施設、研修医師の希望に応じて研修プログラムを編成する |
| | 研修内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ルーチン業務としてCT読影に携わる他、ルーチン業務としてCT読影に携わる他、希望に応じてMRI、核医学、IVRの研修を行う ・ 他科へのローテーションは行わない |